

# 糸ようじ・フロスのつかいかた



## 糸ようじ

### 特徴



**特長 1** ブラークをしっかりと落とす

たるみを持たせた糸の繊維がブラークまからめ取ります。



**特長 2** 使いやすいY字型ホルダー



奥歯も手軽に清掃できます。

**特長 3** 歯間に挿入しやすい

せまい歯間にもスムーズに入り込みます。



**特長 4** 切れにくく、くり返し使える



丈夫な繊維テフミロン<sup>®</sup>の採用。水で洗ってくり返し使えます。

### 使い方のポイントは？

**STEP 1**

狭くてフロスが通りにくいところは、横にゆっくりスライドさせながら挿入しましょう。  
※強い力でまっすぐに挿入しようとすると、歯ぐきを傷つけることがあります。

**STEP 2**

隣り合った歯を1歯ずつ、まず手前の歯面に沿わせながら上下に動かして、ブラークをこそり取ります。

**STEP 3**

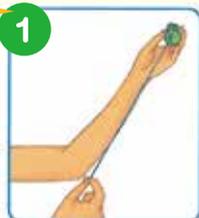
次に反対側の歯の歯面に沿わせながら上下に動かして、ブラークをこそり取ります。  
※必ず両側の歯面を清掃しましょう。

**STEP 4**

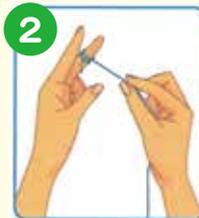
歯と歯ぐきの境目にある溝(歯肉溝)の中のブラークを、歯ぐきを傷つけないようにこそり取ります。

※お子様もご利用いただけます。

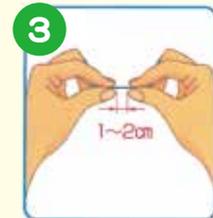
## デンタルフロス



フロスを40cmほどの長さでカットします。



両手中指(人差し指)にフロスを軽く数回巻きつけます。



親指と人差し指でフロスを支え、操作していきます。

### 上の歯の場合

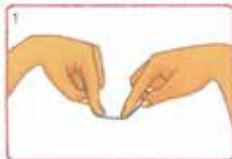


親指と人差し指でフロスを貼るようにもちます。



親指を目の歯、人差し指を歯の後ろに入れ、のこぎりを引くように、押したり引いたりしながら、歯と歯の間にゆっくりと入れます。

### 下の歯の場合



両手の人差し指でフロスを押さえ、ピンと張ります。



両手の人差し指を下に向け、のこぎりを引くように押ししたり引いたりしながら歯と歯の間にゆっくりと入れます。

### 動かし方のポイント



上から見ると「く」の字形になるように歯面の側面にピッタリと押しあてます。



歯と歯ぐきの境目にある溝(歯肉溝)の中のブラークを、歯ぐきを傷つけないようにこそり取ります。



フロスがつめものにひっかかってしまう場合は、引きあげず、片方の糸を放し、横からフロスを引き抜きます。